

もっと知ってほしい、デイケアだからできること。

ほほえみ通信+

ぶらす

hohoemi



vol.18

Mar. 2023

西宮協立デイケアセンター ほほえみ
西宮市津門呉羽町10-13
TEL:0798-36-6780 FAX:0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ
西宮市津門呉羽町9-10 1F
TEL:0798-33-3501 FAX:0798-33-3502

〳 知っておきたい! 〳

生活行為向上リハビリテーション加算とは

もう一度やりたいことにチャレンジ! あなたの目標をサポートします



生活行為の目標を具体的に設定し、達成することを目的とした取り組みが「生活行為向上リハビリテーション加算」です。通所でのリハビリに加え、月に1回の居宅訪問を半年間行い、生活行為の助言や指導を行います。ほほえみ・第2ほほえみでは、リハビリ専門職全員が生活行為の研修を履修済み。サポート体制を整えています!



生活行為とは?

身の回りの動作だけでなく、家事や趣味活動等の生活全般のこと。

顔を洗う 入浴 電車通勤 買い物 など

通所
リハ

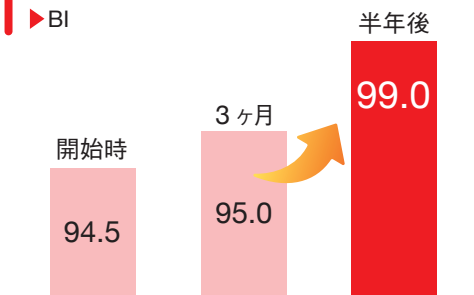


居宅
訪問

ほほえみ・第2ほほえみでは リハビリ専門職全員が生活行為向上をサポートできます

日常生活動作の点数

▶ BI

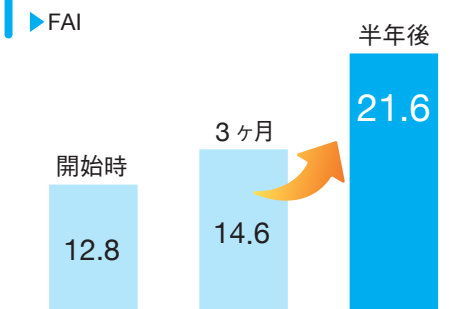


基礎から応用へ、段階的なりハビリを通じて生活行為を着実に改善します。

2021年9月~2022年5月にかけ、ほほえみ・第2ほほえみの利用者さま35名に生活行為向上リハビリテーションを実施しました。取り組み後は、日常生活動作(ADL)を評価する指標となるBI(Barthel Index)や、社会参加(IADL)等を評価する指標となるFAI(Frenchay Activities Index)において改善が見られています。

家事・外出・趣味活動の点数

▶ FAI



生活行為向上リハビリは、開始時から3ヶ月は基礎体力練習が中心。次の3ヶ月で応用動作練習が中心になることが多いです。グラフを見ると、3ヶ月から半年後のあいだに数値が大きく改善しています。応用動作練習を行うことで活動量が増え、日常生活動作や家事・外出・趣味活動にも良い影響を与えたものと考えられます。

生活行為向上リハビリテーション 実施事例

ほほえみ・第2 ほほえみで生活行為向上リハビリテーションに取り組んだ方の一例をご紹介します。

1 ひとりで通院したい

DATA



年齢：50代
性別：男性
介護度：要支援2

目標

車いすを押して移動する

結果

かかりつけの病院まで通院できるようになった。



2 仕事に復帰したい

DATA



年齢：70代
性別：女性
介護度：要支援2

目標

清掃の仕事に復帰する

結果

復職することができた。



3 自転車で移動したい

DATA



年齢：60代
性別：男性
介護度：要支援1

目標

自転車で福祉センターまで行く

結果

自転車で福祉センターまで行ける。また、公共交通機関を利用できるようになった。

4 介助量を減らしたい

DATA



年齢：80代
性別：男性
介護度：要介護4

目標

トイレ動作介助量の軽減

結果

環境調整を行い、ゆっくりとトイレに座れるようになった。

5 杖を使って歩きたい

DATA



年齢：80代
性別：女性
介護度：要介護1

目標

杖を使って屋外歩行自立

結果

杖を使い屋外歩行できるようになった。



生活行為とは、手で物をつかむ、立ち上がるなど複数の動作が組み合わさったものです。生活行為向上リハビリテーションでは、利用者さまの「生活」を踏まえた機能訓練や応用練習を実施します。通所リハと居宅訪問によるリハビリを通し、半年以内の目標達成を目指します。